

第7回 川越市総合計画審議会 事前意見への回答

分野	No	意見	対応・見解
7 地域社会・安全安心	1	<p>7-2 互いに支え合う地域コミュニティづくり 3 多文化共生の推進 2 外国籍市民にも暮らしやすいまちにするため、言葉の壁に配慮した情報発信など、コミュニケーションや生活面での支援の充実を図ります。</p> <p>について</p> <p>外国籍市民が暮らしやすくするために、外国籍市民の方に日常会話でコミュニケーションができる程度の日本語の習得してもらう事、また日本及び川越市の生活習慣（生活ルールやマナーを）の例を理解してもらう事が必要と考えます。その様な方針を外国籍市民及びこれから川越に住む外国籍の方にしっかり伝える事が大切と思います。</p>	<p>御意見のとおり、言葉による意思疎通が十分にできないことや、お互いの文化や生活習慣に対して理解が進まないことが、外国籍市民と日本人市民との間で同じ地域住民としてのつながりを困難にし、外国籍市民が孤立する要因となっていると認識しております。</p> <p>本市では、外国籍市民の日本語学習を支援するため、国際交流センターや大東南公民館、霞ヶ関北公民館、高階公民館等でボランティアによる日本語教室が開催されています。また、生活する上で必要な基本的な情報を掲載した「川越生活ガイド」を日本語、英語、中国語、ベトナム語、ネパール語の5か国語で作成しています。</p> <p>本市における多文化共生を推進するため、引き続き、様々な文化や習慣等に関する相互の理解を図るとともに、外国籍市民が日本語を学ぶ機会の拡大や、円滑に日本社会で働き、生活を送る上で必要な情報提供に努めてまいります。</p>